

《極楽寺》

極楽寺は、奈良時代の創建時には、華嚴宗（けごんしゅう）奈良東大寺の支配下にある寺でしたが、平安時代に弘法大師空海（こうぼうだいし くうかい）が四国を回って修業をした際に、この地で温泉を発見し、弁財天像を境内にまつられて以来、真言宗に改宗したとされています。本尊は阿弥陀如来で、本堂の正面には、「無量光（むりょうこう）」と書かれた額があります。「人々を救う仏の光は、無限にある」という意味だそうです。



【山門】



【本堂】



【「無量光」と書かれた額】



【鐘楼堂】